

令和5年度第1回研究授業・研究協議会 児童が主体的に学習する授業への挑戦 5年・理科「ものの溶け方」

令和5年11月29日(水) 13:30-14:20

【授業】

- 1 これまでの学習の振り返り
- 2 本時の学習(めあて)

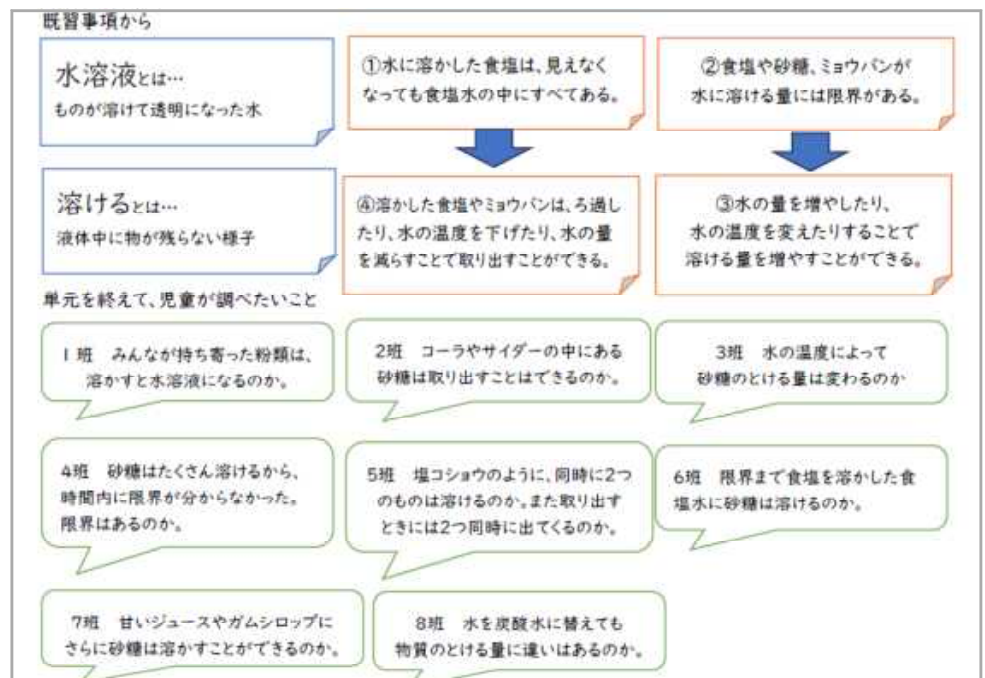
【問題】
ものとのけ方の単元で学んだことをもとに、自分の調べたいことを実験しよう。
【実験の目的】
私たちに生活に生かすことができるかどうか。
【実験のテーマ】
今までやった実験の結果と「比べる」実験



- 3 本日の授業の流れの確認

時間	学習活動
5分	目的・テーマ・流れの確認
20分	実験) グループごと
10分	考察) 一人で5分、グループで5分 (まとめボード作成)
5分	周囲の班の回覧
5分	まとめボードをもとに学級で共有

単元末の発展的な学習として、これまでの学習をもとに、さらに自分たちで調べてみたいことを、グループごとに計画し、実験を行う。



4 実験開始



5 考察



6 周囲の班と共有、まとめボードで全員共有



【研究協議会】講師:日本新たな学び方研究開発ネットワーク会長 西留安雄先生

1 授業者より 子供たち自身が考えた実験だった。生活に活かすことができればと思う。

2 学年より

5年生 学年で考えた。実験を教師が切ってしまうことが多いが、子供達はその先をやりたがるので今日は、それをやってみた。

理科の授業の視点というよりも、児童が主語となる授業にするためにという視点で協議をお願いしたい。

3 グループ協議



【低学年】子供達が生活に活かすというのをどれくらい実感できていたのか？

用具の使い方などは押さえておく良かった。

実験計画をどうやったのか？

最後の共有で、グループの中でも違う意見だったり、科学的に間違っているような場合、軌道修正はしなくて良かったのか。

実験計画 理科としての実験の存在意義を保つため、生活にいかす、という観点を入れた。→ 子供たちから

出された意見から、生活にいかすというものと離れているものについてはのぞいた。

【中学年】今回の授業で子供達が主語になっていたのは、自分たちでやりたいという動機から行っていたのが良かった。

実験の準備は子供達でやったのか？

「生活に活かす」の視点がぼやけていたか。

図工なら、あれもやりたいこれもやりたいとなると、準備も際限なく増えていくだろう。

→ 生活に結びつけるは最後につけた。



【高学年】授業始まる前の子供達のキラキラした感じは、子供達は意欲的に取り組んでいた。主体的な取り組みの成果。

既習事項を押さえてやったところも良かった。

「生活に結びつける」の部分が難しかった。

予想の段階で、「生活に活かす」まで考えてあれば良かったのでは。



4 指導・講評 西留安雄先生

・教師が介入するところは2箇所

「見通し」が間違っている、足りていない時は、教員が介入する

「学び合い」が間違えていたらどうするか？ → 教員が介入するのではなく、自分たちで「それは



違うんじゃない？」と言い合える文化を作っていくとよい。

- ・「生活に生かす」というのは、単元の初めから扱っていたら良かった。
- ・教科の目標に、指導要領の内容を組み込んでいきたい
- ・学習リーダー 進行役 教材研究は子どもがやるようにする

○各班の実験は主体的に、楽しく実験できた。全員参加型があった。これだけでも良かった。

- ・1人で考察と言うところで、考えられない子がいる。「友達のを見ながらやってください。」でいい。
- ・理科室の座席の良さ。1人の時間はなるべく早く終わりにし、仲間と話をさせたい。

○三吾として、学習スタイルをこのように統一していこうという研究を行うといい。

△子供はよく動いて楽しそうにしていたが、「考える」という点ではどうだったか？

- ・班の代表が書いたり、喋っているのはだめ。みんなの意見が取り上げられることが必要。

指導案の書き方 5分で書ける指導案でいい レ点で書ける指導案 板書型指導案

疲労感いっぱい指導案を作るのも考え直していかなければならない

A4一枚で収める学習指導案

→ ゼロから考えるではなく、指導案集をうまく活用する

△「わかった人」と言って手を挙げさせる、というのをやめたい 自由に発言できるクラスに

「正方形の面積」、「長方形の面積」などは教科の用語（指導要領に書いてある）

→ これを「キーワード」と呼ぶ

気づき 子供達に相談させる

「学習過程」の基本

①課題 例「一番簡単な求め方を考えよう」

子供から全く出なかったらどうするか？

→ 指導計画を貼っておく、それを見ればいい

②課題を書いたら、まとめの1行目

③今日のキーワードは？

④見通し

⑤自力解決（手強い問題では、自力解決に時間をかけてはならない）

算数の場合、式と答えで答えるだけでなく、説明をさせる 図、式、言葉

⑥友達と話し合い キーワードと合わせて、議論しあう

⑦まとめはグループでやればいい

間違いは指摘し合う仲間に 子どもが言わなければ教師が教える

⑧振り返り

今日、一番楽しかったのは、すごかったのは何？ など、シンプルなものでいい





その他、子供たちが「主語」になるには
ゼミナール形式
全員参加のホワイトボード
3色マーカー

